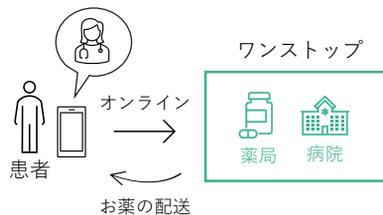


提案に至る背景

近年の新型コロナウイルスの全国的な蔓延を踏まえて**オンライン医療に対する規制緩和**が予定されており、各医療機関にもその対応が求められている。しかし個々の医療機関が独自に仕組みを作ることは難しく、既に提供されているオンライン医療サービスも**オンラインならではのメリットを十分に活用できていないものが多い**。

実証実験の目的

新規医療アプリを通じて医師の診療・薬剤師の服薬指導・お薬の配送までの**一連の流れをワンストップで提供するサービス**の構築を目指す。また、オペレーション効率化により**医療コストの削減**が可能なことを実証する。



アプリによるワンストップな医療体験

実証実験の概要

つくば市の協力のもと**アプリのMVP (実用最小限の製品: Minimum Viable Product)**を構築。つくば市内の企業に提供しサービス運用の検証を行う。



検証したい内容

- モニターにアプリを利用していただき、ヒアリングを通してUX設計と改良を図りたい。
- つくば市内を拠点とする企業に実際にサービスを提供することにより運用体制の構築を行いたい。
- 上記を通してサービスのニーズがあることビジネスモデルとして成立することを検証したい。

市が行う支援内容

- ・アプリのモニターとしての協力
- ・市内企業へのコーディネート
- ・金融機関・VCの紹介
- ・プロモーションやパブリシティ

期待される効果・実現を目指す未来社会

医療機関と薬局をオンライン上で一体化することにより医療サービスの向上を実現します。あるべきUXをサービスとして示すことで医療業界全体のDXを前に進めます。



全ての手続きがオンラインで完結。感染リスクの低下



調剤医療費5%の削減試算

全国 **3,750**億円
茨城県 **86**億円
つくば市 **7**億円



DXによる医療事務の効率化とデータ連携による利便性の向上